

# 秋田県水産振興センター

Akita Prefectural Institute of Fisheries



マダイ



トラフグ

第39回全国豊かな海づくり大会 あきた大会(令和元年9月) 御放流魚

## 海づくり つながる未来 豊かな地域

水産振興センターでは、  
秋田の海や川の水産資源を  
将来にわたり持続的に利用していくための  
試験研究を行っています。



県の魚「ハタハタ」平成14年12月6日制定



# 水産振興センターの使命

秋田県の水産業は、漁業者の減少と高齢化が著しく進行しているほか、近年は海洋環境の変化による資源の減少や漁獲高の低迷などにより厳しい状況にあります。

このため、県内唯一の水産系試験研究機関である水産振興センターでは、漁業者の所得向上を第一のミッションとして次の四つの基本方針に基づき、水産業の振興に資する調査・試験研究等に取り組みます。

## 基本方針

- I 秋田の浅海域を有効に利用する技術の開発
- II 資源動向と環境変化に対応する調査及び技術の開発
- III 秋田ブランドをつくり育てる漁業の展開
- IV 秋田の未来をつなぐ漁業者の育成



- 明治33年(1900年) 水産試験場設立許可。南秋田郡土崎港小倉町に秋田県水産試験場を設立
- 明治35年(1902年) 南秋田郡土崎町相染新田に移転
- 大正11年(1922年) 南秋田郡土崎港町に新庁舎を建設
- 昭和15年(1940年) 南秋田郡船越町に八郎湖養殖部を設置
- 昭和25年(1950年) 南秋田郡船川港町に、廃止となった国立水産試験場秋田分場の庁舎を得て移転
- 昭和32年(1957年) 男鹿市船川港に新庁舎を建設
- 昭和36年(1961年) 男鹿市船川港に秋田県水産講習所を設置
- 昭和40年(1965年) 秋田県水産講習所を廃止し、秋田県沿岸漁民研修所を設置
- 昭和41年(1966年) 男鹿市戸賀に秋田県水産種苗供給所を設置するとともに秋田県沿岸漁民研修所を同所に移転
- 昭和42年(1967年) 南秋田郡八郎潟町一日市に秋田県八郎湖増殖指導所を設置
- 昭和44年(1969年) 秋田県水産種苗供給所を秋田県水産試験場戸賀分場と改称
- 昭和47年(1972年) 秋田県八郎湖増殖指導所を秋田県内水面水産指導所と改称
- 昭和55年(1980年) 男鹿市船川港台島字鶴ノ崎に秋田県栽培漁業センターを設置
- 昭和60年(1985年) 同所に秋田県水産試験場、秋田県栽培漁業センター、秋田県沿岸漁民研修所を統合して秋田県水産振興センターを設置
- 平成3年(1991年) 秋田県内水面水産指導所を水産振興センターに統合
- 平成5年(1993年) 由利郡象潟町に秋田県水産振興センターアワビ種苗生産施設を設置
- 平成6年(1994年) 北秋田郡阿仁町中村に秋田県水産振興センター内水面試験池を設置
- 平成18年(2006年) 県内公設試験研究機関の機構改革に伴い、秋田県水産振興センターを秋田県農林水産技術センター水産振興センターと改称
- 平成20年(2008年) 秋田県水産振興センターアワビ種苗生産施設を秋田県水産漁港課に移管
- 平成24年(2021年) 県内公設試験研究機関の機構改革に伴い、秋田県水産振興センターと改称
- 平成28年(2016年) 栽培漁業施設のリニューアル工事に着手
- 平成31年(2019年) 栽培漁業施設の完成に伴い全施設の運用開始

所長  
Director

総務企画室  
General Administration and Planning Office

総務企画班  
General Administration and Planning Subsection 漁業無線局

- 庁舎・船舶管理、施設の運営管理、庶務一般、外部連絡調整
- 試験研究の企画・広報・評価、視察・見学対応
- 水産業改良普及、漁業担い手育成支援
- 漁業無線局の管理・運営

資源部  
Fishery Resources Division 千秋丸

- 海域の水産資源調査
- ハタハタの資源対策に関する調査
- 海洋環境の変動に関する調査
- 八郎湖・十和田湖の水産資源調査
- 外来魚等水産資源に対する有害生物の調査

増殖部  
Stock Enhancement Division 内水面試験池

- 有用魚介類の種苗生産（アユ・ワカメ等）
- 有用魚介類の種苗生産・放流技術の開発（トラフグ・キジハタ等）
- 内水面水産資源の増養殖手法の開発・指導（アユ・サクラマス等）
- 藻場・磯根資源の維持・増殖技術の開発
- 魚病診断と防疫対策・指導



## 調査指導船 千秋丸

Fisheries experimental Ship Senshu-Maru



### [主要項目]

総トン数99t、主機関1,030kw、全長33.84m  
型幅6.20m、型深さ2.85m

### [主な装備]

漁網監視装置、海底地形探査装置、CTD測定装置  
魚群探知機、水中テレビ

### [漁具]

底びき網（かけ廻し、板びき）、籠、はえ縄

## 内水面試験池

Inland Water Fisheries Experimental Station



冷水性魚類の飼育試験・内水面における調査等を実施

第39回全国豊かな海づくり大会 あきた大会  
大会キャラクター



©2015秋田県んだっチ

# 水産資源の持続的利用と漁場環境の保全を図るために

ハタハタ・マダラ・カレイ類など重要な水産資源について、資源状況や漁業実態を把握し、これらの資源を将来にわたって合理的に利用する方法を検討します。

生態系や水質を継続的に調査し、漁場環境の保全等について提案します。

## 水産資源調査 Fishery resources research



底びき網によるハタハタ・マダラなどの採集

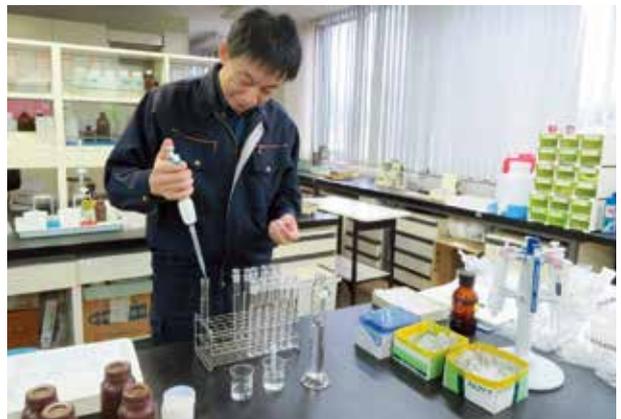
## 海域環境調査 Marine environmental research



水深別の水温、塩分などの観測



改良漁具による操業試験



採取した水の分析



採取した生物の精密測定



貝毒プランクトン調査

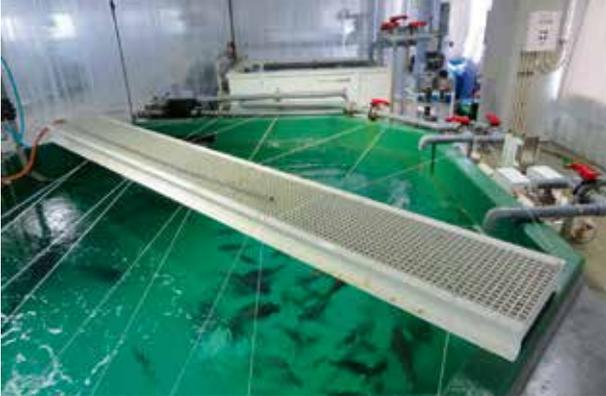
# 水産資源の生産性を高めるために

「つくり育てる漁業」を推進するために、良質な種苗を効率的に生産し、放流する技術を開発するとともに、魚介類の養殖技術や魚病対策について指導を行います。

また、磯根資源の漁場や、多くの海産生物の産卵と生育の場として重要な藻場の保全と、持続的利用に関する技術を開発します。

## 種苗生産・放流

Seedling production and stocking



閉鎖循環システムを用いた親魚養成



稚魚の餌となるプランクトン（ワムシ）の培養



ワカメの種苗生産



トラフグ稚魚の生態調査

## 藻場調査

Seaweed bed research



浅海域での磯根資源の生育状況調査

## 魚病対策

Fish disease countermeasures



魚病の診断

# 河川・湖沼の漁場を効果的に活用するために

米代川、雄物川、子吉川の三大河川をはじめとする河川や、八郎湖、十和田湖などの湖沼において、魚介類の資源生態と生息環境に関する調査を行い、サクラマス、アユ、ワカサギ、ヒメマスなどの重要資源を管理・増殖する手法を開発します。

## 資源・環境調査

Fishery resources and environmental research



曳き網によるアユなどの採集



プランクトン調査

## 増殖手法開発など

Fishery stock enhancement technique development



サクラマスの採卵



サケ発眼卵の埋設放流試験



サクラマスの親魚養成



クニマスの共同調査

# 研究成果を有効に活用するために

漁家経営の向上に役立つ情報や技術の普及・指導、漁業の担い手育成の支援を行うとともに、試験研究により得られた成果や情報を、報告書や機関誌・ホームページを通じて積極的に広報します。

また、大学や他分野の研究機関との共同研究に取り組むほか、施設の利用や見学を通じて学校教育、地域活動を支援します。

## 普及事業

Extension services



ハタハタのふ化放流指導



先進地の視察研修

## 情報提供など

Information and education



参観デー



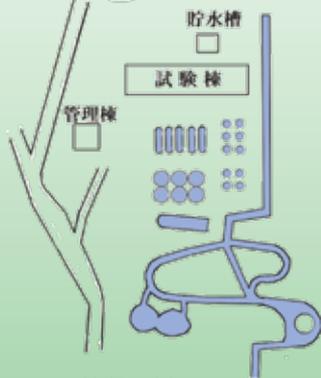
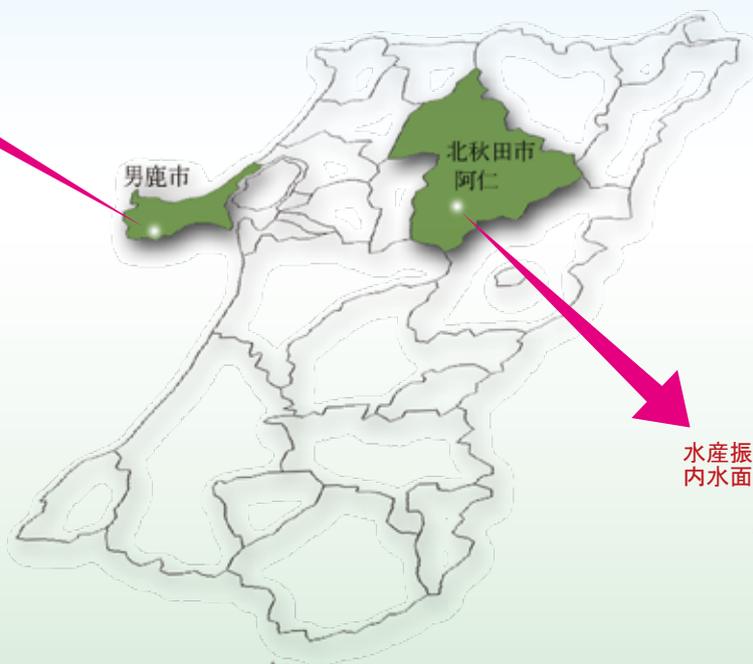
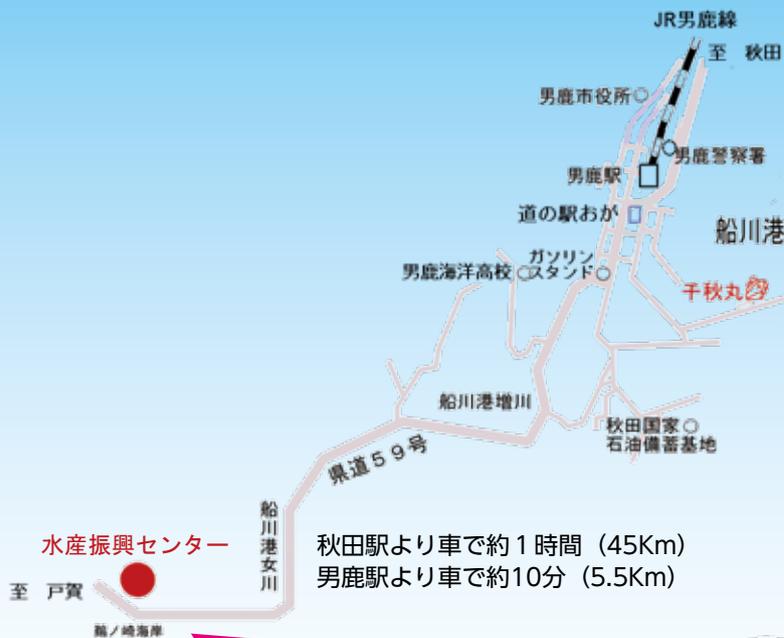
施設見学の受入



研修の受入



漁業無線局



## 秋田県水産振興センター

〒010-0531 男鹿市船川港台島字鶴ノ崎8番地の4

TEL 0185-27-3003 (代) FAX 0185-27-3004

e-mail akisuishi@pref.akita.lg.jp

Akita Prefectural Institute of Fisheries

8-4 Unosaki, Daishima, Funagawaminato, Oga-City Akita 010-0531 Japan

## 内水面試験池

〒018-4732 北秋田市阿仁中村字戸草沢67

TEL 0186-84-2806 FAX 0186-84-2807

## 漁業無線局

TEL・FAX 0185-27-3010

